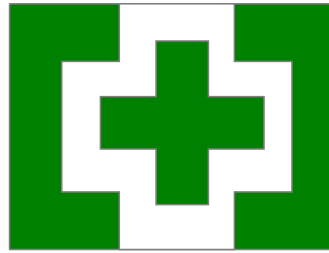


2023年度 全国安全週間・準備期間の活動について

2023年6月1日
日鉄エンジニアリング(株)
北九州技術センター



I. 活動の趣旨

今年で96回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために、産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

当社の安全週間活動方針は「①昨年から本年前半に生じた災害の原因を復習し類似災害防止対策を確実に実行する ②作業計画やルール等の「管理面」および人に起因する「行動面」での災害要因を排除する ③高所作業と重機作業は重点管理事項に位置付ける ④熱中症への対策徹底」を徹底する となっています。

当センターにおいても、本方針に呼応した労働災害防止対策・活動を展開します。当センターは現時点（5/25）で、休業1件（フォークリフトとの接触）、不休0件、軽処置5件（耐火物が足に落下、幅木が落下、開口部に足を落とす、目に異物混入、グラインダーが落下）と昨年同時期の休業2件、不休10件、軽処置9件と比べ減少はしているものの、休業が発生していることと、グループ会社で墜落による重大災害発生を踏まえ楽観視する状況ではありません。

それらの原因は、危険軽視による行動、一つ一つの作業における設備、周辺環境の安全確認・点検不足が挙げられます。これらの対策としては、危険に対する一人ひとりの意識を高めること、それを維持するためへの日頃からの啓発活動および相互の声掛けが重要であります。

これらの状況を踏まえ、本期間は、年方針の再徹底の機会と捉えると共に、直協関係者が一丸となり情熱を持って本活動を推進し、年後半の『災害ゼロ』達成を目指していきましょう！

II. 期間 **2023年6月1日 ～ 2023年7月7日**
(準備期間：6/1～6/30、本週間：7/1～7/7)

III. 活動のスローガン

「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」

IV. 実施項目（詳細は次ページを参照）

1. 活動趣旨の浸透と周知徹底
2. 北九州技術センター安全大会
3. 重点活動事項
 - (1) 店社部門と現場での相互情報共有による災害事例の周知徹底と確認を実施
 - (2) 工事計画とKYの充実、行動面での災害要因排除検討による安全水準の向上
 - (3) 高所作業・重機作業における綿密な作業計画・現場確認にて重大災害撲滅
 - (4) 熱中症への感度向上と迅速な対処の徹底
 - (5) 転倒災害防止対策の取組み

日鉄エンジニアリング(株) 北九州技術センター 北九州技術センター 安全衛生協力会
日鉄エンジニアリング労働組合

実施項目	実施内容	実施者	対象者	場所	実施時期
1. 活動趣旨の浸透と周知徹底	(1) 社長メッセージの配布	社長(安全衛生・環境部)	直従業員・協事業者	執務室、作業所	6月1日(木)
	(2) 全国安全週間活動啓発ビラ配布 ※ メールでビラを配布し放送で周知	総括安全衛生管理者 労働組合、安全衛生協力会 北九州安全衛生・環境室	直・協従業員	—	6月1日(木)
	(3) 夏季安全祈願祭 参列者：岡田センター長、従業員、協力会、組合、北九州安環室	祭主：総括安全衛生管理者	直・協従業員	高見神社	6月8日(木) 8時～
	(4) 啓発ポスター、横断幕、垂幕の掲示	作業所長ほか施工管理者	直・協従業員	執務室、作業所	期間中
2. 北九州技術センター安全大会	・総括安全衛生管理者 挨拶 ・安全衛生協力会会長 挨拶 ・安全衛生・環境部長 挨拶、安全週間活動計画について ・直協代表決意表明 ・災害ゼロ唱和	(事務局：北九州安全衛生・環境室)	直従業員・協事業者 安全衛生協力会	多目的ホール(食堂)	6月8日(木) 9時30分～10時00分 決意表明：製鉄P'ロジック部 ゼロ唱和：製鉄P'ラントビ'部
3. 重点活動事項 (1) 店社部門と現場での相互情報共有による 災害事例の周知徹底と確認を実施	1) 昨年から本年前半に生じた災害事例を再度周知し危険に対する感度を向上させる 災害事例の掲示および安全大会等を通じて関係者全員に周知・啓発し安全意識を高める。	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
	2) 上記災害状況において自部門にて類似点がある場合は再発防止対応を総点検する	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
	3) 本社支社の管理者層は期間活動中での安全パトロールを必須活動事項とする	ライン管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
	4) 職場における安全対話の実施 部長、室長、グループ長をリーダーとして、直近災害事例チェックリスト、災害DB(SAGUR)にて類似災害防止検討会を実施。 (直近災害事例説明会：30分程度)	ライン管理者 北九州安全衛生・環境室	直従業員(派遣含む) 直従業員(派遣含む)	オフィス ブレインションルーム、Teams会議	期間中 6月14日(水) 11:00
(2) 工事計画とKYの充実、行動面での災害要因排除検討 による安全水準の向上	1) 工事計画審議やリスクアセスメントは店社幹部(室長以上)が必ず参画し対策の漏れを防ぐ 特に、墜落災害防止対策・飛末落下防止対策・重機接触防止対策を強化する。 ①足場計画・墜落防止設備計画に対する着工前安全審査の確実な実施 ②足場設置時および工事進捗状況に応じた墜落災害防止対策の確認の実施 ③高所開口近傍等の安全帯完全使用場所の特定とその場所での安全帯使用の指導強化(キャンペーンとして指導役の配置等) ※安全帯完全使用場所の例：足場組立・解体時、安全柵・手摺がない開口部・作業床端部周辺作業時、床材設置作業時 指導役は、安全チョッキや腕章を着用するなど、明確化のこと。 ④飛末落下防止措置の確実な実施と点検 ⑤重機作業計画における歩車分離・立入禁止措置・誘導者配置などによる重機接触防止の徹底と実施状況の確認を行う ⑥管理・監督者の日々の安全パトロールによる安全行動に対する営めの声掛け(しっかりと安全帯を掛けてきているね！等)	作業所長、直協施工管理者 ライン管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
	2) 工事の節目や予定外作業での「再KY」は現地現物KYとして必須ルール化する ※安全大会、TBM等を活用しルールを徹底する	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
	3) 指差確認(ひと呼吸運動・AA0<焦らず、慌てず、落ち着いて>活動など)を全員に周知徹底しリスク(危険)を意識させる ①安全大会等を通じ、不安全行動防止に向けた啓発を実施 ②指差し呼称を実践し、作業行動直前の安全確認を実施する。(DSコンテンツ等を活用し啓発) ③危険予知(KY)活動強化にて災害リスクを抽出し危険作業を排除 ・管理監督者は、積極的にKYに参加し指導する。 ・作業前に「一人KY実践カード」を活用し一人KYを実施し、作業の安全確認・点検を確実に行う。 ※一人KY徹底のため、TBM時に一人KYカードを掲げ、安全唱和などにより携帯を促す	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
(3) 高所作業・重機作業における綿密な作業計画・ 現場確認にて重大災害撲滅	1) 高所作業と重機作業における作業計画時でのリスクの拾い出し徹底する	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
	2) 高所作業と重機作業における基本ルール遵守について現場総点検を実施する。 ①安全帯使用・重機近接禁止等の行動面・設備面での基本ルールをチェックリストで確認し墜落災害と重機災害を防止する ②不安全行動を見逃さない、黙認しない。(不安全行動を現認したその場で丁寧な指導を心掛ける) ③不安全状態を放置させない(作業床の開口部、端部の養生、作業通路・足場からの墜落防止処置など) ④3H(初めて、変更、久しぶり)作業時には重点的にパトロールを実施する。 ⑤声掛けによるコミュニケーションの活性化	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中
(4) 熱中症への感度向上と迅速な対処の徹底	1) WBGTの掲示やポスター、啓発用品等で熱中症の危険に対する感度を高める ①作業者全員に対し、熱中症予防教育を実施する ②作業所毎に、早め・こまめの休憩時間の設定と、皆が気兼ねなく休憩できる環境を作り、積極的な水分・塩分の摂取を促す ③継続した啓発、パトロールによる熱中症予防の意識付け	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中を含め熱中症が 懸念される期間
	2) 熱中症は症状が軽くても素観視は厳禁！適切な対応にて重篤化を防ぐ 発症時の迅速な救急車要請と応急処置の実施により重篤化を回避する	作業所長、直協施工管理者	直・協従業員	作業所、実験現場	期間中を含め熱中症が 懸念される期間
(5) 転倒災害防止対策の取組み	1) 転倒災害防止の啓発(デジタルサイネージディスプレイ等の活用等) 2) 職場内の通路の点検(置き転倒する障害物がないか等) 3) 年齢に関わらず各人が健康診断や体力の状況を把握し、自己の健康を守るための努力の重要性を理解する ①転倒等リスク評価セルフチェックの実施(2ステップテスト、座位ステップテスト、閉眼片足立ち等) ②体力維持と生活習慣改善の情報発信(S館、E館のデジタルサイネージディスプレイの活用等)	ライン管理者、作業所長 ライン管理者、作業所長 直・協従業員 北九州安全衛生・環境室	直・協従業員 直・協従業員 直・協従業員 直・協従業員	オフィス、作業所、実験現場 オフィス、作業所、実験現場 オフィス	期間中 期間中 期間中